

ゴビンダ通信

No51

発行：無実のゴビンダさんを支える会
事務局

Justice for Govinda

- Innocence Advocacy Group

July 1, 2012

再審開始決定と刑の執行停止で即日釈放！！

この手紙を入管で書いてから4日後、ゴビンダさんは18年ぶりに離日しました。

支える会のみなさん、Yokohama Immigrationから
心をこめてナマステのごあいさつを送ります。

無実のゴビンダです。

私は無実だから無罪 当り前のけっかです。でもしんじ
つはしんじてくれた さいばんかんと 出あって 本当に
よかったです。ネパールでは、「しんじつは さいごに しゅうする」
ということわざが ありまして やっぱり本当でした。この当り
前のけっか 出たのは 支える会のみなさんの せいいはい
の どりょうく、ごしえん はげましと さらに およそ 万人ぐら
いの みなさんの しゅうめ と べんごにんの どりょうくの
けっかです。もちろん 日本のメディアの Back up も ありました。
みなさん、ことはで たりないですが、かんじやの きもちで
むね いっぱい です。みなさんの はげまし、なきけなど 私の
人生の わすれられたい ことです。また 無罪 はんけつまで
つつけて くださ い。どうぞ よろしく お願 い します。

お世話 になりました。

それでは、サヨナラ。

無実のゴビンダ・フラスアド・マイナリ



よこはま にゅうかん にて。

2012年6月11日。

ゴビンダさんの悲願、「家族と一緒に帰国」と「お母さんとの再会」が実現！！

事件から15年、ゴビンダさんの真実の叫びが天に届き、ついに裁判所を動かしました。

2012年6月7日、東京高等裁判所第4刑事部（小川正持裁判長）は、ゴビンダさんの再審開始を決定。さらに「刑の執行停止」も認められ、ゴビンダさんは当日のうちに横浜刑務所から釈放され、東京入国管理局横浜支局に移されました。

私たち「支える会」の招きにより、決定前日に緊急来日していた家族（妻ラダさん、長女ミティラさん、次女エリサさん）も、この感動的な大勝利の一日を、多くの支援者らと共に体験することができました。

劇的な釈放から一夜明けた8日の午前10時、家族3人と横浜の入管に行き、ゴビンダさんに面会を申し込みました。

ちょうど宮村啓太弁護士が面会中とのことで、待つこと30分。案内された面会室は、拘留所や刑務所とほぼ同じ。しかし、アクリル板の向こうには、白いスポーツウェアを着た「私服のゴビンダさん」が座っていました。その姿を目の当たりにして、「もうゴビンダさんは”受刑者”ではなくなったのだ！」という実感が込み上げてきました。

以下は、ひとしきり続いた家族との会話の後、ゴビンダさんから聞いた話です。

～ 7日午前10時すぎ、神田安積弁護士の面会で「開始決定と刑の執行停止決定」を知らされた。その後、「荷物をまとめておくように」と刑務官から指示された。受刑者仲間たちは、工場の昼休みに「ゴビンダ、バンザイ！」と喜んでくれた。その後の動き（高検が異議申立をし、釈放を取り消すよう高裁に求めたが、高裁が棄却したことなど）も、神田弁護士を通じて承知していた。そして夕方5時頃、刑務官から「釈放だ」と告げられた。まさか、その日のうちに釈放されるとは期待していなかったもので、その瞬間、嬉しさのあまり「頭が真っ白に」なってしまった。いよいよ外に出るときは、集まっている報道陣から撮られないよう、大勢の刑務官が人垣で取り囲んで護送車に乗せられた。30分くらいで入管に着き、7時のテレビニュースで、今朝「開始決定」が出た瞬間の裁判所前の映像やラダさんのインタビューの様子などを見ることができた ～

日本を離れる前に、支援者に手紙を書きたいとのゴビンダさんの求めに応じて、入管の1階にあるコンビニで、便箋と封筒、切手を差し入れました。それが1頁に掲載した手紙です。

この手紙の日付から4日後の6月15日、ゴビンダさんは成田空港から、妻ラダさん、長女ミティラさん、次女エリサさんとともに帰国の途につきました。「支える会」の蓮見さん、片川さん、客野も同行しました。空港でも機内でも夥しい報道陣の取材攻勢にあい、また乗り継ぎのバンコック空港では、ゴビンダさんだけが翌朝のフライトまで、現地の入管当局に身柄を拘束されるなど緊張の連続でしたが、16日、何とか無事にカトマンズ空港に到着。出迎えたお母さんとの再会を果たすことが出来ました。二人はしっかりと抱き合い、「やっと帰れて嬉しい」、「よく頑張ったね」との言葉を交わしました。（次頁へ）

到着日の夕方、兄インドラさんが設定していた記者会見があり、その晩は、家族と親族だけの歓迎会がありました。ゴビンダさんは、数日前から興奮と緊張でほとんど寝ていないため疲れているようでしたが、翌朝、自宅を訪ねると、居間のソファでくつろいで、大分落ち着いたかんじでした。「うちに帰ったら、ゴビンダの好きな『ダルバード（豆のカレー）』を食べさせたい」と言っていたラダさんは、娘たちに手伝わせて、台所で忙しく立ち働いていました。意外なことに、ゴビンダさんと家族たちの様子から、母国を離れて18年（事件から15年）という長いブランクは、ほとんど感じられませんでした。この長い歲月、ゴビンダさんと家族は、たとえ引き離されていても、ずっと心はひとつだったのです。「支える会」結成以来、ほぼ毎年のように家族を日本に招き、日常的に家族とコンタクトをとり、互いの安否を知らせ続けてきて、本当によかったと実感しました。このようにゴビンダさんと家族の絆を保って来られたのも、多くの皆さまのご支援あってこそです。

5月23日請求審の結審、5月31日決定日の通知、6月6日家族緊急来日、7日開始決定と即日釈放、そして15日帰国という、まるでジェットコースタームービーのような、息をつく暇もないような目まぐるしい展開でした。とりあえず最大の山場を越しましたが、ゴビンダさん再審の闘いは、これから新たな局面を迎えます。当面の課題は異議審の早期決着です。検察に有罪主張を断念させ、1日も早く再審無罪判決を勝ちとるため、これまで以上に支援活動の強化と拡大に努めてまいります。今までの長きにわたる皆さまのご支援に感謝するとともに、これからもより一層のお力添えをよろしく願いいたします。

（報告：客野）

家族からの感謝状

到着日の記者会見での席上、ゴビンダさんのご家族から「支える会」への感謝状をいただきました。ネパールの伝統工芸である立派な木製の額（横幅最長50cm、高さ45cm）に嵌めこまれた金属板に、以下のような英文が刻印されています。7月16日報告集会のとき、皆さまに御披露いたします。

感謝状

この感謝状は、「無実のゴビンダさんを支える会」の皆さまの、ゴビンダ・プラサドド・マイナリを15年間に渡る不正義な投獄と故なき苦しみに救いだし、自由の身とするための努力と献身に対し、深甚なる感謝を込めて贈呈するものです。

ゴビンダの無実を獲得するために皆さまの示された揺るぎない関与は、人間としての情熱と結束、そして最終的な勝利を勝ち取るための法廷闘争の類稀な例として、長く記憶に留められることでしょう。

ゴビンダの母 チャンドラカラ・マイナリ
マイナリー家と正義を愛するネパール人一同より
カトマンズ、ネパール 2012年6月16日

再審開始要請署名へのお礼と新たなお願い

2005年3月24日再審請求から2012年6月7日開始決定まで、東京高裁第4刑事部に、合計「22回」の要請を行い、総数「5万6485筆+642団体」の署名を提出することができました。6月7日決定後に届いたもの(656筆+17団体)は提出できませんが、支援の貴重な記録に含めさせていただきますので、ご了承ください。

新たに高裁第5刑事部宛の署名用紙を作成しました。「異議審早期終結」のため、引き続き、より一層のお力添えをいただけますよう、どうぞよろしくお願いいたします。

(個人・団体とも署名用紙はホームページからダウンロードできます)

7・16再審開始決定報告集会 ゴビンダさん帰国おめでとう！ 1日も早く再審無罪を！

日時 2012年7月16日(月・休日)13:30～ (開場13:15)

場所 文京区民センター(2A会議室)

「第一部＝報告集会」 参加費500円

13:30～15:15 開始決定と帰国DVD上映・弁護団報告など

「第二部＝祝賀会」 参加費2500円(同じ会場で立食形式)

15:30～17:00 乾盃・立食・歓談・参加者の祝辞など

* 詳細は、同封のチラシをご覧ください。

□□□ 事務局からのお知らせ

▼事務局会議： 次回7月10日(火)午後6～8時現代人文社にて。従来、毎月第2木曜日を定例としていましたが、請求審の進展に対応するため、予定を変更して臨時会議を開催する場合があります。随時、ML(メーリングリスト)にてお知らせしていますが、MLに加入していない方は、恐れ入りますが、個人的にメールや電話にてお問い合わせください。

▼緊急カンパのお願い： 家族揃っての帰国の経費のほか、帰国後も平常の生活に戻るまでには困難も予想され、引き続きサポートが必要です。ご理解とご協力をお願いいたします。

▼ゴビンダさんが入管にいる間に、全国から100通もの祝電や手紙が届いたそうです。今後も帰国したゴビンダさんに激励の手紙を書いてくださる場合は、「支える会」事務局宛にお送りください。後日、託送の機会などがあれば、まとめてゴビンダさん届けることができます。

無実のゴビンダさんを支える会 事務局

〒160-0004 東京都新宿区四谷2-10八ッ橋ビル7階 現代人文社気付 TEL: 080-6550-4669

e-mail: govinda@jca.apc.org ホームページ <http://www.jca.apc.org/govinda>